

平成30年度行政評価 事務事業評価シート(平成29年度実績)

事務事業コード		030201150	予算コード		06090610	従事人員(人)		投入コスト(千円)		評価	評価点	一次評価		B	
事務事業名		一般介護予防事業				正規職員数		0.3	国庫支出金	7,902	有効性	A	運動機能向上や認知症予防、カラオケ機器を利用した音楽介護予防事業など、高齢者自身の社会参加活動を通じた介護予防を図り、活力のある地域づくりに寄与する。		
担当課		高齢介護課				嘱託職員数		0.1	府支出金	3,951					
根拠法令等		市単独事業				臨時職員数		0	市債	0	効率性	該当なし			
		■要綱・要領				歳出(千円)			その他	8,850					
		・泉佐野市地域介護予防活動支援事業実施要綱 ・泉佐野市介護支援サポーター事業実施要綱				人件費総額		2,904	一般財源	24,766	妥当性	A			
									減価償却費	0					
									事業費	42,565	受益者負担	該当なし			
事務事業類型		運営事業				フルコスト(千円)			45,469	緊急性	C	事務事業実施内容			
実施手法		全部委託				市民1人当たりコスト(円)			452						
対象						活動指標			H29実績		公的関与	A			
特定の市民				対象数		街デいの運動機能向上及び介護予防体操				720.0					
市内介護保険被保険者						延べ活動回数(介護支援サポーター)				333.0	実施主体・委託化	B			
事業の内容						開催数(音楽介護予防教室)				525.0					
・市内3箇所の街かどデイハウス支援事業実施団体に、一般介護予防事業として、運動機能・認知症予防などの事業を委託することにより、高齢者の自立生活を支援する。 ・介護支援サポーターの活動実績を評価した上で、介護支援サポーター活動評価ポイントを付与し、当該高齢者の申し出により泉佐野地域ポイントを付与する。 ・市内の町会館や公共施設でカラオケ機器を利用し、歌と音楽を中心とした介護予防教室を実施する。											他の事務事業との関連	A			
						成果指標			H29実績		透明性	A			
						年間延べ利用人数(街デいの運動機能向上及び介護予防体操)				4,303.0					
						介護支援サポーター登録者数				59.0	財政健全化計画	該当なし			
						年間延べ利用人数(音楽介護予防教室)				9,873.0					
											財政健全化の取組	未入力			
						コスト指標			H29実績		改革改善プラン達成度	該当なし			
事業の目的						利用者1人当たりの経費(運動機能向上、介護予防体操)				3,147.0					
社会的必要性の高い介護予防サービスを提供することで、身近な地域での介護予防拠点として機能して行くことが必要である。高齢者によるサポーター活動を通じた地域後見を奨励及び支援することにより、高齢者自身の社会参加活動を通じた介護予防を図り、生き生きとした活力のある地域づくりに寄与することを目的とする。						利用者1人当たりの経費(介護支援サポーター)				20,895.0					
						利用者1人当たりの経費(音楽介護予防教室)				3,147.0					